



佐藤誠七 町長

## 平成22年度 施政方針 (要旨抜粋)

平成22年度は、新しい総合計画がスタートする年です。町民アンケートや座談会をおし、多くの声を聞いてきました。様々な課題が山積するなかですが、共創のまちづくりを基本に、町民の皆様と共にすすめる第5次総合計画にしていきたいと思います。皆様、笑顔が輝き、「住んで良かった」と感じていただけるような魅力ある町づくりに取り組みます。

また、本町発展のために

は何としても必要であった過疎対策は、現行の制度が6年間延長されることになりました。中央対地方あるいは過密に対する過疎という視点から、自立する基礎自治体として町づくりを行っていきます。

虚心想懐、就任時の初心に立ち返り、町民の生活と福祉の向上、幸せを願いながら諸施策の実現に向け、一生懸命取り組んでいきます。

虚心想懐 初心に立ち返り 一生懸命取り組む

# 出産・子育て・雇 総額



切望される荒砥橋架け替え

## 総括質疑

### 荒砥橋架け替え、早期実現を

佐竹典明 議員

佐竹 今後10年間の「置賜地域の県道整備計画」に「荒砥橋架け替え」と明記され、早期実現の可能性が強まりました。それには、町民の盛り上がりが一番だと思います。いかがですか。

町長 荒砥橋については、今まで議員や期成同盟会の方たちにも必要性を訴えていただき、町の姿勢を見せていただきました。

これからも皆様のお力をお借りしながら、できる限り早く着工していただけるように努力していきます。

### 町独自の文化的景観に

今野正明 議員

今野 身近な運動として、最上川の景観を町独自の文化的景観としてはどうですか。

町長 町としても最上川の恩恵や景観の素晴らしさを忘れてはなりません。状況を確認しながら、町独自の文化的景観、遺産とする点に関しては検討していきます。

### ホウレンソウ(報・連・相)は

### コウハン(行・反)に効く

守谷丹吾 議員

守谷 報告、連絡、相談そして行動し反省をする。このことは行政運営上はもちろん、議会や町民に対して今こそ大事だと思います。どうですか。

町長 先日、東京で長年営業を行っている方が、「ホウレンソウが無くなったら、会社は存続しなくなる。」と話していたこともあり、大事だと思います。

町づくりとして取り組んできたことは、常に町民のご意見を聞きながら課題解決に向けてやってきたことです。今後も、大事にしながら行政運営をしていきます。



広大な最上川